

令和 2 年

高松市消費者物価指数の動き

Consumer Price Index

香川県政策部統計調査課

# 目 次

|     |                         |    |
|-----|-------------------------|----|
| I   | 高松市消費者物価指数の動向           |    |
| 1   | 概況                      | 1  |
| 2   | 総合指数の動き                 | 2  |
| 3   | 費目別指数の動き                | 3  |
| II  | 統計表                     |    |
| 1   | 高松市中分類指数                | 8  |
| 2   | 消費者物価指数の推移              | 13 |
| III | 参考                      |    |
| 1   | 消費者物価指数のしくみと見方（利用者のために） | 14 |
| 2   | 基本分類表                   | 18 |
| 3   | 中分類別ウェイト（高松市・全国）        | 22 |
| 4   | 家計調査                    | 23 |

# I 高松市消費者物価指数の動向

# 1 概況

◆◆◆ 総合指数101.7 対前年上昇率△0.2% ◆◆◆

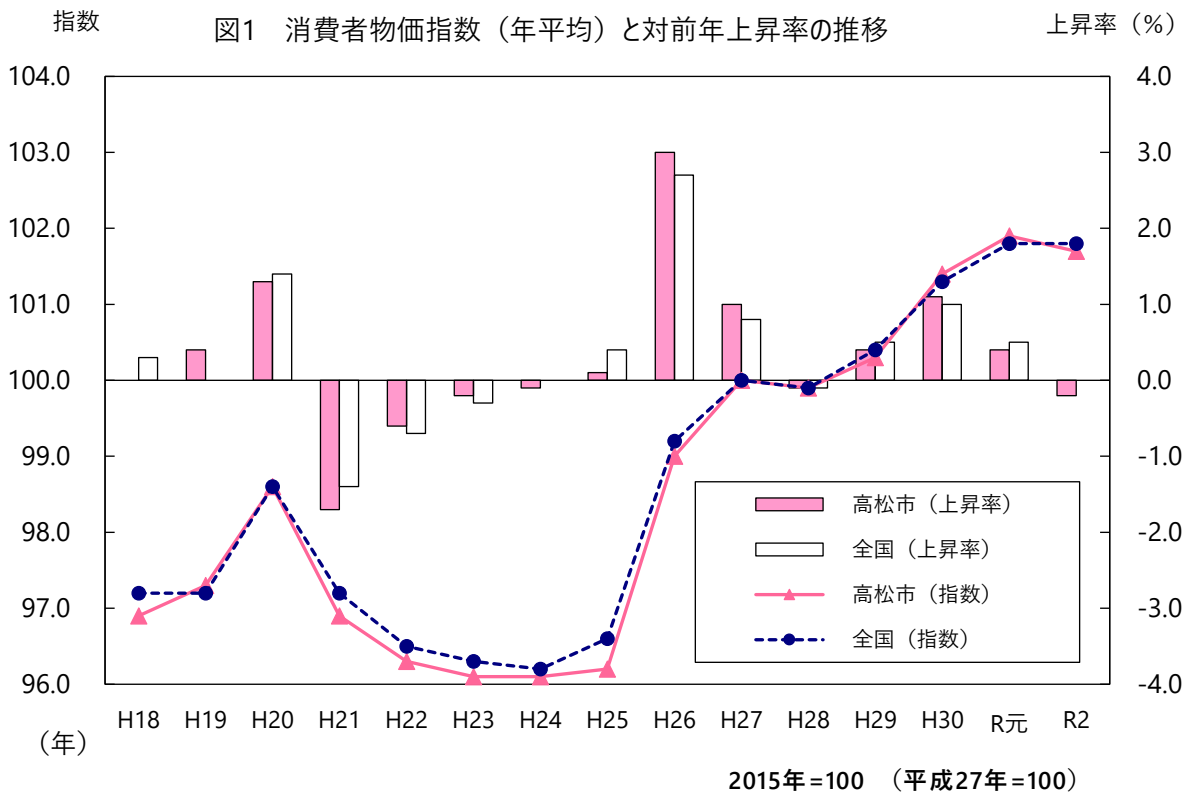
令和2年（令和2年1月～令和2年12月）平均の高松市消費者物価指数は、平成27年平均を100とした総合指数で101.7となり、前年より0.2%下落した。

生鮮食品を除く総合は101.2となり、前年より0.4%下落した。

近年の総合指数の動きを対前年比で見ると、平成11年以降デフレ傾向が続き、平成19年、20年には原油及び穀物価格の高騰により一時上昇に転じたが、平成20年9月のリーマン・ショック後、平成21年の1.7%の下落を始まりとして、平成24年まで4年連続の下落となった。平成25年、5年ぶりに上昇に転じて以降は2回の消費税率の引き上げ（平成26年4月：5%→8%、令和元年10月：8%→10% ※食品などは8%に据え置き）もあり、概ね上昇傾向が続いた。令和2年は、前年10月から始まった幼児教育無償化や、新型コロナウイルス感染症流行に伴う燃料価格の低下により、平成28年以来4年ぶりの下落となった。

また、全国の令和2年平均総合指数は101.8となり、前年と同水準であった。

(図1)

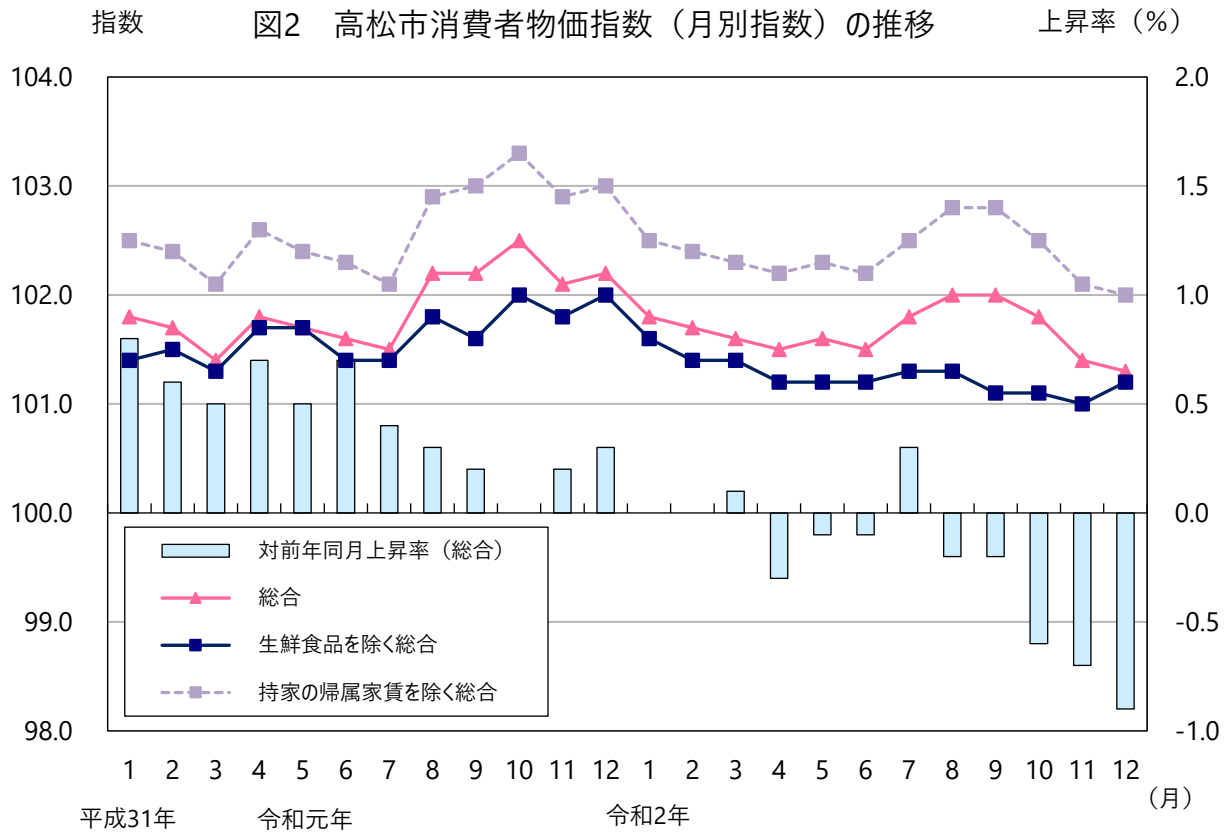


## 2 総合指数の動き

令和2年平均の高松市消費者物価指数（総合指数）の対前年上昇率は、 $\Delta 0.2\%$ であった。この1年間における月別の総合指数の動きをみると、対前年同月比は、概ね下落傾向となっている。

なお、生鮮食品を除く総合指数は101.2で前年に比べ0.4%の下落、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.4で前年に比べ0.2%の下落となっている。

(図2)



### 3 費目別指数の動き

10大費目の動きを前年比で見ると、「食料」「家具・家事用品」の2費目が上昇し、「教育」「諸雑費」「光熱・水道」など8費目が下落している。

#### <上昇した費目>

|         |        |               |
|---------|--------|---------------|
| 食料      | (1.7%) | 生鮮野菜などの値上がり   |
| 家具・家事用品 | (1.5%) | 家庭用耐久財などの値上がり |

#### <下落した費目>

|        |                  |                  |
|--------|------------------|------------------|
| 教育     | ( $\Delta$ 4.4%) | 授業料等の値下がり        |
| 諸雑費    | ( $\Delta$ 2.1%) | 他の諸雑費などの値下がり     |
| 光熱・水道  | ( $\Delta$ 1.7%) | 他の光熱などの値下がり      |
| 交通・通信  | ( $\Delta$ 1.0%) | 自動車等関係費などの値下がり   |
| 保健医療   | ( $\Delta$ 0.7%) | 保健医療用品・器具などの値下がり |
| 被服及び履物 | ( $\Delta$ 0.6%) | 和服などの値下がり        |
| 教養娯楽   | ( $\Delta$ 0.6%) | 教養娯楽サービスなどの値下がり  |
| 住居     | ( $\Delta$ 0.1%) | 設備修繕・維持などの値下がり   |

(図3, 図4)

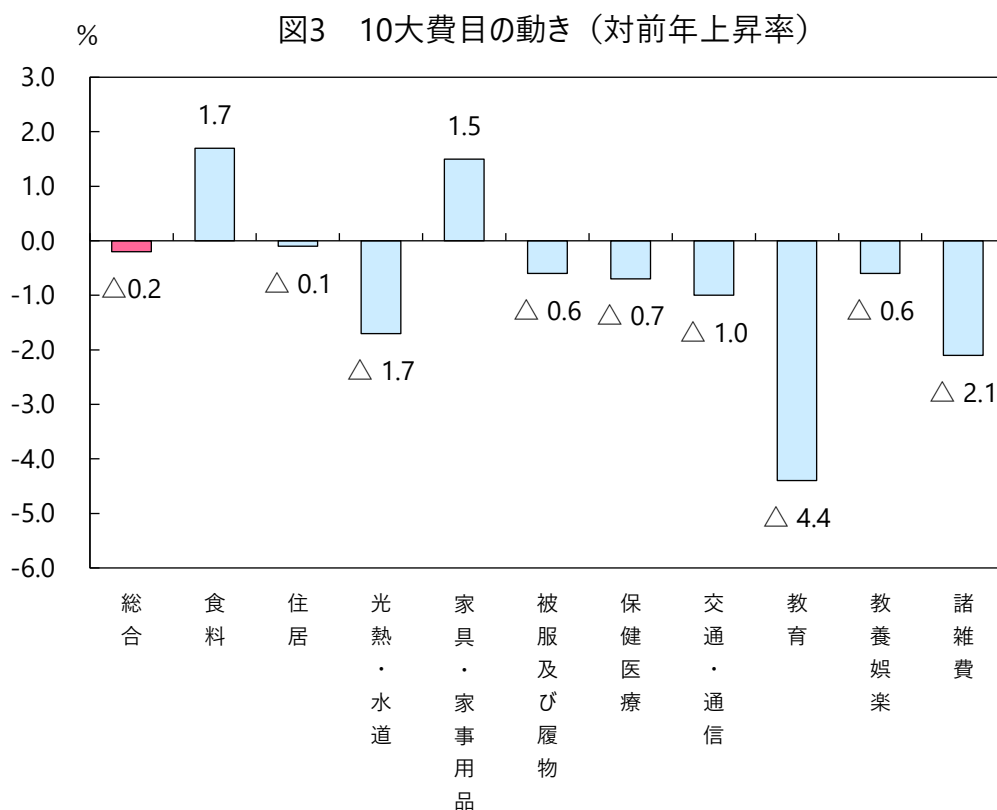
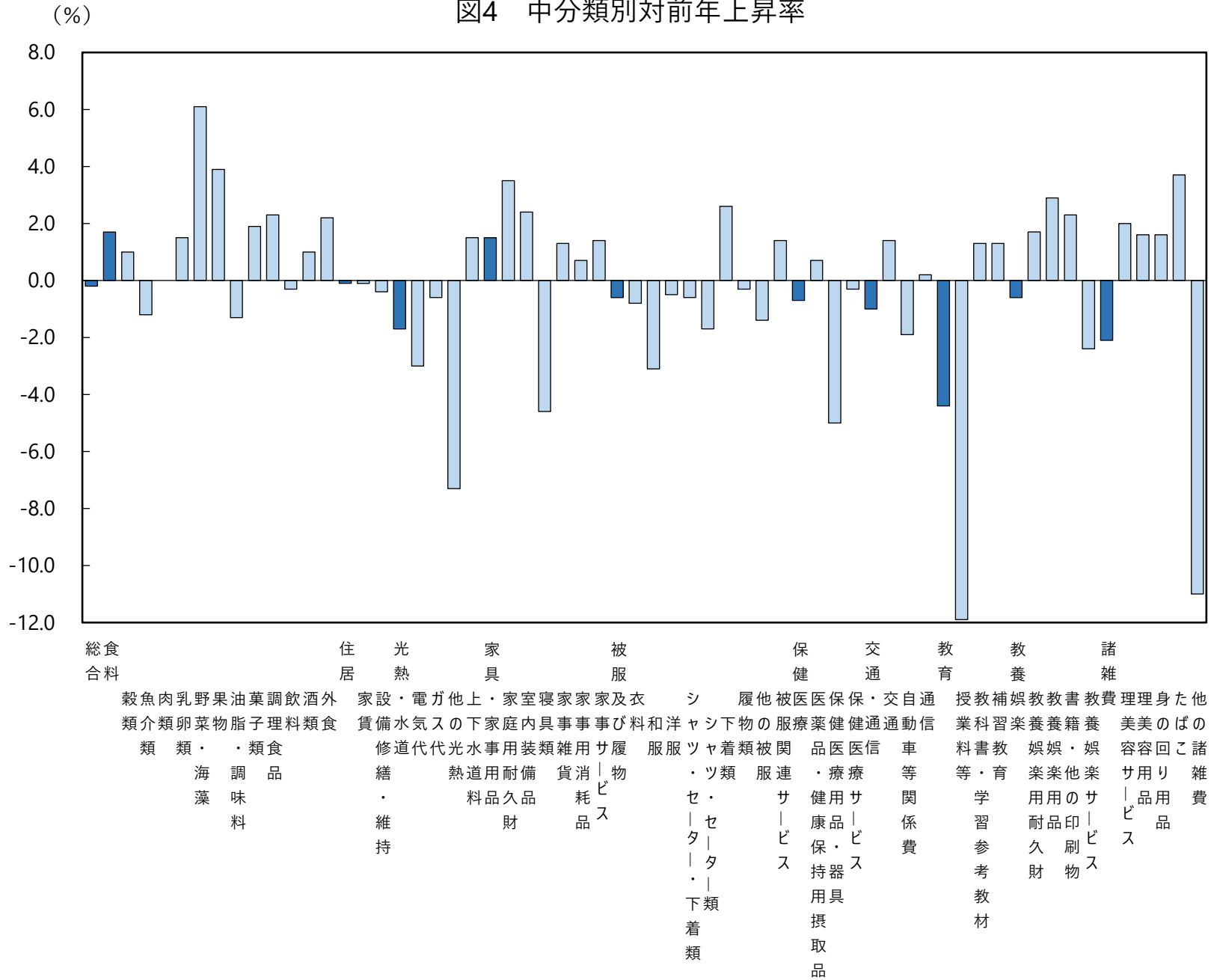


図4 中分類別対前年上昇率



【食料】 指数 106.3

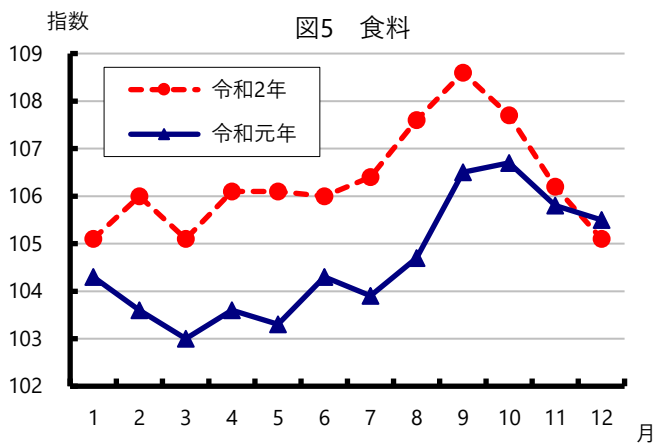
全体で前年比 1.7%の上昇

**上昇** 野菜・海藻 (6.1%) , 果物 (3.9%) ,  
 外食 (2.2%) , 調理食品 (2.3%) ,  
 菓子類 (1.9%) , 乳卵類 (1.5%) ,  
 穀類 (1.0%) , 酒類 (1.0%)

**下落** 油脂・調味料 (△1.3%) ,  
 魚介類 (△1.2%) , 飲料 (△0.3%)

**同水準** 肉類

< 図5, 第1表 >

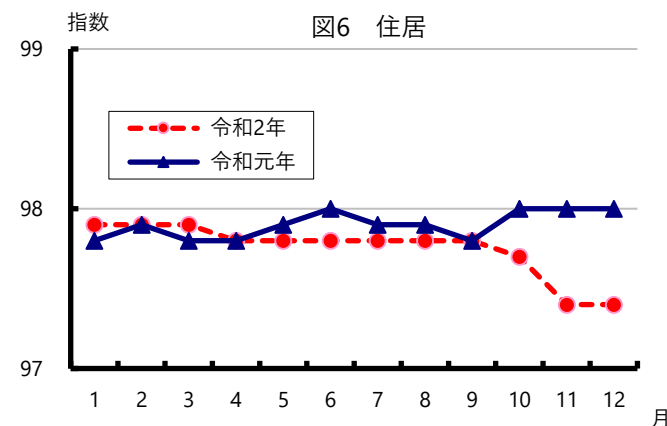


【住居】 指数 97.8

全体で前年比 0.1%の下落

**下落** 設備修繕・維持 (△0.4%)  
 家賃 (△0.1%)

< 図6, 第1表 >

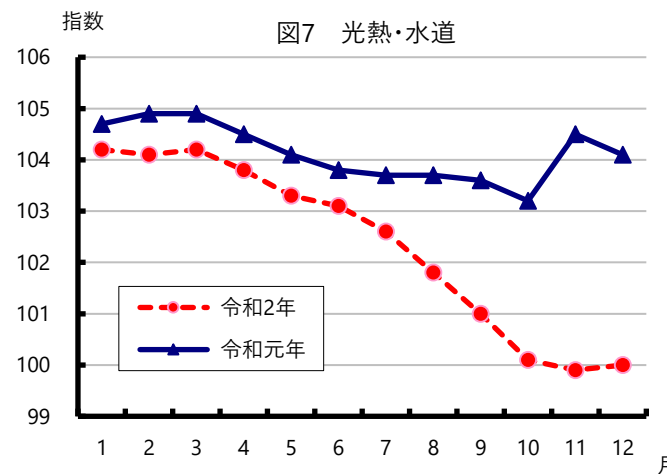


【光熱・水道】 指数 102.3

全体で前年比 1.7%の下落

**上昇** 上下水道料 (1.5%)  
**下落** 他の光熱 (△7.3%) ,  
 電気代 (△3.0%) , ガス代 (△0.6%)

< 図7, 第1表 >



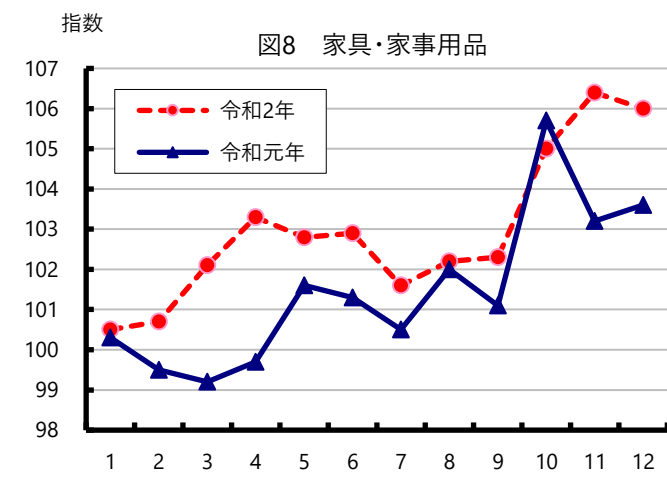
【家具・家事用品】 指数 103.0

全体で前年比 1.5%の上昇

**上昇** 家庭用耐久財 (3.5%) ,  
 室内装備品 (2.4%) ,  
 家事サービス (1.4%) ,  
 家事雑貨 (1.3%) ,  
 家事用消耗品 (0.7%)

**下落** 寝具類 (△4.6%)

< 図8, 第1表 >





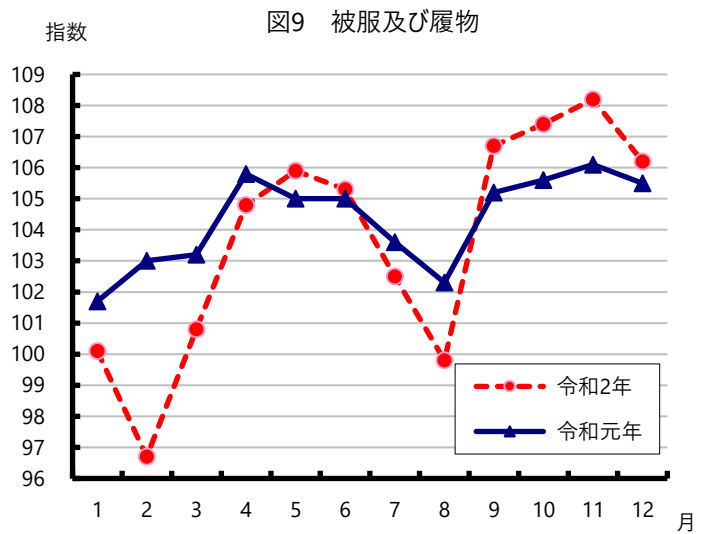
【被服及び履物】 指数 103.7

全体で前年比 0.6%の下落

上昇 被服関連サービス (1.4%)

下落 他の被服 (△1.4%) ,  
衣料 (△0.8%) ,  
シャツ・セーター・下着類 (△0.6%) ,  
履物類 (△0.3%)

< 図9, 第1表 >



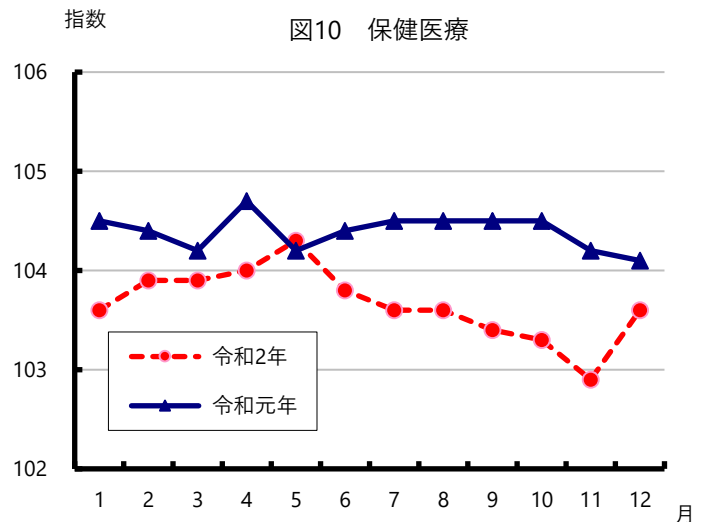
【保健医療】 指数 103.7

全体で前年比 0.7%の下落

上昇 医薬品・健康保持用摂取品 (0.7%)

下落 保健医療用品・器具 (△5.0%) ,  
保健医療サービス (△0.3%)

< 図10, 第1表 >



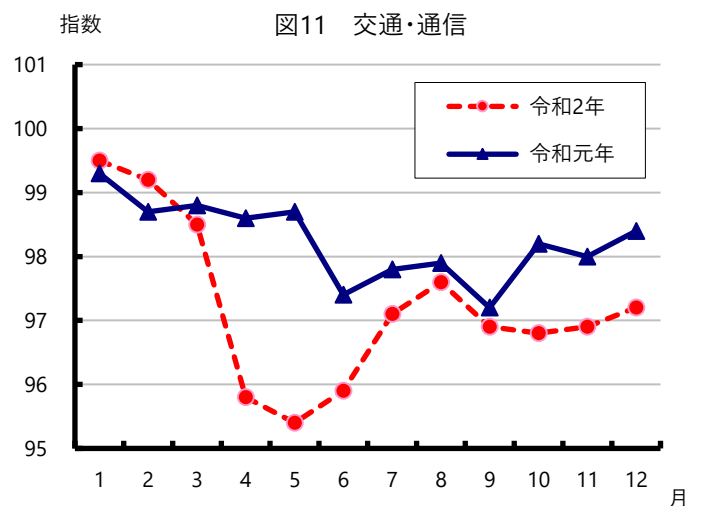
【交通・通信】 指数 97.2

全体で前年比 1.0%の下落

上昇 交通 (1.4%) , 通信 (0.2%)

下落 自動車等関係費 (△1.9%)

< 図11, 第1表 >



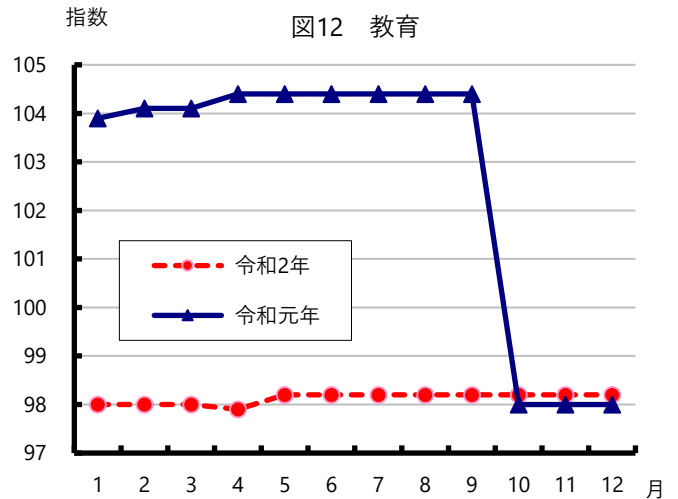
**【教育】 指数 98.1**

全体で前年比 4.4%の下落

**上昇** 教科書・学習参考教材 (1.3%) ,  
補習教育 (1.3%)

**下落** 授業料等 (△11.9%)

< 図12, 第1表 >



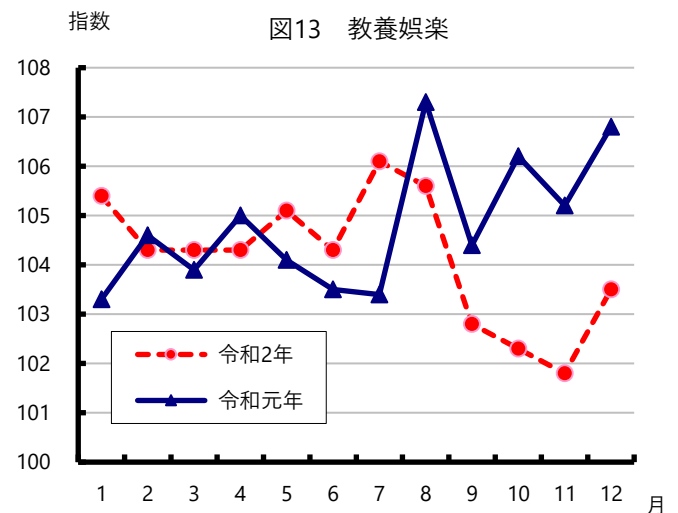
**【教養娯楽】 指数 104.1**

全体で前年比 0.6%の下落

**上昇** 教養娯楽用品 (2.9%) ,  
書籍・他の印刷物 (2.3%) ,  
教養娯楽用耐久財 (1.7%)

**下落** 教養娯楽サービス (△2.4%)

< 図13, 第1表 >



**【諸雑費】 指数 99.0**

全体で前年比 2.1%の下落

**上昇** たばこ (3.7%) ,  
理美容サービス (2.0%) ,  
理美容用品 (1.6%) ,  
身の回り用品 (1.6%)

**下落** 他の諸雑費 (△11.0%)

< 図14, 第1表 >

